公益社団法人北海道看護協会

さっぽろ 第1支部だより

Vol.68/2021.7

Contents

P2　支部長・副支部長ご挨拶
P3　令和2年度　札幌第1支部講演会報告
P4　動画配信研修報告〈医療安全特別委員会〉
P5　令和3年度　札幌第1支部研修・講演会予定
P6　募集、入会、ほっとひといきコーナー

2021年7月31日発行　編集発行／公益社団法人北海道看護協会札幌第1支部　編集責任者／勝見　真澄　第68号

支部長・副支部長　ご挨拶

支部長　勝見　真澄

爽やかな初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。日頃より、札幌第１支部の運営・活動に多大なるご支援を賜り、深く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（以下：COVID-19）の感染拡大による危機的な状況が続く中、会員の皆様は自身の健康に留意しながら、市民の健康を守ることに全力を注ぎ、緊張感と不安を抱えたまま、走り続けているのではないでしょうか。心より敬意を表します。

支部活動においては、昨年度前半は中止・縮小という対応をしてまいりましたが、後半は、役員や委員会の皆様のご尽力のおかげで新しい事業やオンラインでの開催などに取組むことができました。課題もありましたが、参加者の皆様からは建設的なご意見を頂戴しましたので、今年度においても「ピンチをチャンス」と捉え、新しい支部事業の在り方を模索しながら、昨年度の経験を活かし支部運営を行っていきたいと考えております。

まだまだ予断の許さない状況は続きますが、COVID-19 の 1 日も早い収束を願いつつ、会員の皆様におかれましては、引き続き支部運営へのご意見やご要望、ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副支部長　小野　由美

今年度より札幌第 1 支部副支部長に選出されました、社会医療法人社団カレスサッポロ時計台記念病院の小野由美と申します。協会の活動歴は、北海道看護協会の推薦委員のみで支部の活動歴はありません。副支部長のお話をいただいた時には戸惑いましたが、役員や委員の皆様とともに支部活動を盛り上げていきたいと考えております。

新型コロナウイルスによる感染の猛威により私たちの生活は大きく変わりました。最新の情報収集につとめ、厳重な感染防止対策を実施し、研修や会議も Web を活用するなど努力を重ねてきていることと思います。5 月に予定されていた「看護の日　市民交流会」開催も中止となり、令和 3 年度通常総会も開催規模縮小となり今もまだ予断を許さない状況です。新型コロナウイルス感染症のワクチンについては、複数のワクチンが承認され接種が進められています。幾分か不安が解消されることが想定されても、まだまだ感染対策対応が続くことが予測されます。新しい生活様式に併せて支部事業のあり方について会員の皆様とともに模索していかなければと思っております。宜しくお願いいたします。

札幌第1支部講演会報告

令和2年度

令和3年2月20日、札幌パークホテルにおいて令和2年度北海道看護協会札幌第一支部主催による講演会を開催しました。講師に東京大学死生学・応用倫理センターの会田薫子先生をリモートでお招きし、テーマは「その人らしさの尊重　その人が主役であり続けられるケア～臨床倫理の視点から～」でご講演いただきました。会場には、役員をはじめ多くの方が出席されていました。また、リモートで51名の方が参加されました。講義は、その人らしさを尊重するための意思決定支援についての在り方、ACPの定義や考え方から事例を通して実際にACPについて考えるワークを取り入れていました。講義を通してACPにfrailtyを活かすことで科学的・倫理的に患者に過剰・過少な医療・ケアを避けることにつながり、今後の高齢者のケアにおけるfrailtyの重要性について学びました。また、意思決定プロセスにfrailtyの評価を組み込み、本人・家族と情報共有することがACPであり、医療者がこれを実践することが求められていると学びました。さらに、日本老年医学会では、「高齢者の医療及びケアにおいて苦痛の緩和とQOLの維持・向上に最大限の配慮がなされるべきである」と表明しており、そのため「本人の満足を物差し」として評価する事が重要であると言われていたことから、あらためてコミュニケーションの重要性を再認識しました。様々な視点で知識と示唆を得ることができた講演会となりました。

動画配信研修報告〈医療安全特別委員会〉

即実践！伝わる・身につく考え方ー指導力を高めて安全教育に活かすー インストラクショナルデザインとは

COVID-19の感染拡大により、昨年11月に予定していた医療安全交流会は中止となりましたが、受講できず非常に残念であるという会員からの声を受け、動画配信による研修会を実施しました。講師の杉浦真由美先生（北大オープンエデュケーションセンター所属）にも多くのアドバイスをいただき、支部として初の試みが実現しました。（※撮影に使用した施設は北海道看護専門学校様より無償提供されました。）

全道および道外から実に980名の方から申し込みがあり、2月中旬から3月末に視聴していただきました。年度末の多忙な時期ではありましたが、ぜひ新人を迎える前に視聴していただきたく暗中模索の中、委員一丸となり準備を進めました。視聴後多くの反響があり、「教え方」に対する関心の高さや悩みなどがアンケートからも伝わりました。また、インストラクショナルデザイン（ID）についても、ぜひ今後活用したいというご意見を多数いただきました。

初めての動画配信研修でしたが、「動画は繰り返し視聴可能で、場所や時間の制限がないので今後も企画してほしい。」「自分のペースで視聴でき、何より感染防止対策に最適です。」等のご意見をいただくことができました。そのほか、「ZOOM研修があると、直接質問ができる機会になるので企画してほしい。」というご意見も参考とし、今年度はオンライン研修と動画配信研修の形式を合わせて実施することとなりました。コロナ禍での研修のあり方を検討し、今後も会員のニーズを確認しながら、企画を進めてまいります。

2月6日の動画撮影会場にて
前列中央：杉浦真由美先生　前列右：北海道看護専門学校　田所亮一校長　他医療安全特別委員

8月～9月動画配信研修のご案内

申込期間を延長いたします！

6月26日（土）に「医療安全と臨床倫理ー安全と倫理を両立させるケアー」をテーマにオンライン研修を開催しました。板井孝壱郎先生（宮崎大学医学部 生命・医療倫理学分野 教授）のお話は、医療倫理という難しいテーマではありますが、日常の看護業務やコロナ過での倫理的ジレンマについて、とても分かりやすい講義で、看護職にとって元気と勇気を与えていただけた内容でした。

詳細は、こちらから（研修案内）▶

この講義は、8月～9月の動画配信研修（YouTube）でご視聴いただけます。各施設へのご案内では、申込締め切りを7月21日（水）としておりますが、支部だよりをご覧になりこの研修をお知りになった方もいらっしゃると思います。板井先生のお話を多くの皆さまにご案内したいと思い、申込期間を下記の通り延長することとしました。**学生の方は無料**でご参加いただけます。

お申込みはこちらから（申込フォーム）▶

7月22日（木）～8月2日（月）にお申込みの方
➡ 8月4日（水）にYouTube視聴用URLをご案内します。
8月3日（火）～8月13日（金）にお申込みの方
➡ 8月16日（月）にYouTube視聴用URLをご案内します。

申込に関するご質問などございましたら、下記へお問い合わせください。
●申込に関する問い合わせ先● Sapporo_1@officenavi.net　株式会社オフィスナビネット 馬場さとみ

令和3年度　札幌第１支部研修・講演会予定

令和３年度７月現在

研修名	開催日時／場所	テーマ／講師
看護師職能講演会	9月18日(土) アスティ45 ACU-A 大研修室 1614	「ご遺体の尊厳とグリーフケア」【第2弾】 株式会社ティ・エム　代表取締役 葬祭ディレクター　復元死化粧師　田村　麻由美先生 対面研修
会員懇談会	9月25日(土) 天使ホール	(仮)「意思決定支援」～ACPの在り方を考える 医療法人　道南勤労者医療協会　函館稜北病院 副院長　総合診療科科長　川口　篤也先生 Zoom
助産師職能講演会	10月2日(土)	午前:「CLoCMiP® 関連研修　母体の感染」 午後:精神科ハイリスク妊産褥婦への評価と対応 午前:北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野教授 蝦名　康彦先生 午後:北見赤十字病院　神経精神科医師　柏木　智則先生 Zoom
第２回 医療安全交流会	10月9日(土)	(仮)安全で自律的なチームになるための仕掛けづくり ノンテクニカルスキルを学ぶ メディカルアートディレクター　佐藤　和弘先生 Zoom＋動画
看護管理者懇談会	10月16日(土) 札幌プリンスホテル	(仮)「変化に対応できる看護組織を目指して ～学習と支えあい～」 有限会社ノトコード　代表取締役　平林　慶史先生 調整中
働き続けられる 職場づくり講演会	10月23日(土)	(仮)「アドラー心理学から学ぶ勇気づけ」 こころとからだのカウンセリングルーム smacc 代表　佐高　葵月代先生 Zoom
保健師職能講演会	10月23日(土)	「青年期の発達障害を考える ～職場の人材育成に焦点をあてて～」【第２弾】 札幌学院大学名誉教授　二通　論先生 Zoom＋動画
支部担当研修	10月27日(水)・ 28日(木) 北海道看護協会	「看護実践にいかすフィジカルアセスメント (呼吸・循環・脳神経・消化器)」 調整中 調整中
市民フォーラム	11月27日(土) 札幌国際ビル８階	(仮)「生と死に寄り添う」 白老町観音寺住職　日本臨床宗教師会認定臨床宗教師 米本　智昭先生 調整中
令和３年度 札幌第１支部大会	令和４年 2月19日(土) 札幌パークホテル	(仮)互いに成長できる職場づくり 北海道大学大学院経済学研究院　松尾　睦先生 調整中

※　6、7月に開催終了した研修分につきましては掲載しておりません。

※　今後の新型コロナウイルス感染症感染状況により、開催方法などが変更になる可能性もございますので事前に郵送するご案内または北海道看護協会ホームページの札幌第１支部ページなどをご確認ください。

※　Zoom 開催にご参加の場合は最新版へアップデートされているかご注意ください。

“みんなで創る支部だより”にご協力を！

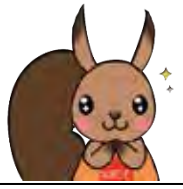
今年度も「さっぽろ第１支部だより」は、会員の皆様の声を反映させていただき、
支部の活性化に寄与すると共に、会員の情報源としての役割を果たしていきたいと考えています。

募　集

67号からリニューアルした皆さまの“さっぽろ第1支部だより”ですが、支部事業の広報だけでなく、幅広く情報を発信できる会員参加型を目指しております。ぜひ、ご意見・ご要望・ご感想などをお寄せください。お待ちしております。

【募集規定】

◎施設名・部署名（個人会員は住所）、氏名、匿名での掲載を希望される方は“ペンネーム”もお願いします。
◎写真は、プリントの場合はＬ版以上、デジタルカメラの場合は画像をご提出ください。（プリント写真は返却いたしません）
◎応募いただいた個人情報は、広報誌作成以外に使用することはありません。



【投稿・お問い合わせ先】

札幌第１支部広報委員会
koho@sapporo-1.jp

募集テーマ

★表紙の写真★

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品（絵や絵手紙など）、心が和むもの・癒されるものなど何でもOKです。

★チーム活動の紹介・認定看護師紹介★

自薦他薦問いません。（写真数枚、本文400字程度）

★ほっとひといきコーナー★

お気に入りの店、ハマっている美味しいもの、旅行の思い出、癒しのペット、ストレス解消法、禁煙成功秘話、職場の取り組み、ちょっとした疑問（みんなになげかける）など…。内容は仕事のこと・仕事以外のこと、何でもOKです。「ほっとひといきコーナー」でみなさんの様々な情報を交換していきましょう！（写真がある場合は1～2枚、本分30～200字程度）

入　会

入会のご案内施設内やご友人などで入会されていない方がおられましたら、ぜひ入会をお勧め願います。

【変更の手続きについて】

勤務先の変更や、個人会員の方がお引越しされた場合は、変更手続きが必要です。退職された場合、変更手続きすることで個人会員の登録となり、それまで職場に送られていた研修案内や支部だよりなどは、ご自宅へお送りします（変更手続きがない場合には、郵便物をお届けできません）。また、施設代表者が代わられた場合にも、変更手続きをお願いします。なお、変更手続きは数週間かかりますので、お早目のご連絡をお願いします。

【入会申込・変更手続きなどの問合せ先】

公益社団法人北海道看護協会　総務部総務課
TEL　011-863-6731

ほっとひといきコーナー

新型コロナウイルス感染症が終息し「マスクを外した生活に戻りたい！」と切に願う毎日です。日々の厳しい業務に加え、外出もままならない現状でストレスもたまっていることと思います。今回の『ほっとひといきコーナー』は、私のお薦めの癒しスポットをご紹介します。

１つめは小樽市の『水天宮』です。桜の時期になると神社を囲むように見事な桜が咲き、高台に建つ神社からは小樽の海も一望することができます。

２つめは『アルテピアッツァ美唄』です。創成川公園やJRタワーにも設置されている安田侃氏の彫刻が昔懐かしい木造校舎と共に鑑賞することができ、緑も多くとても癒される場所です。コロナが終息した折に立ち寄ってみてはいかがでしょう。

平成会病院　K.T

編集後記

With コロナの時代に、私たちは新たな生活様式を獲得し工夫しながら生きる術を身につけてきました。昨年度の前半は中止するより他なかった札幌第1支部の活動でしたが、後半からはオンラインを活用した研修もありました。今年度も、COVID-19と共にスタートしておりますが、各委員会が地域包括システムの実現を途切れさせないため、工夫しながら市民を対象としたフォーラムや専門職を対象とした講演会を企画しております。広報誌は、社会のニーズに合わせて次号よりペーパーレス化しましたが、これからも会員の皆様の声や支部の活動報告を発信する場となることを目指し、発行を継続していきます。お手すきの折にご覧いただければ幸いです。

記／広報委員　黒田

広報委員

佐藤　知子　札幌南三条病院
黒田　佳恵　札幌厚生病院
田中　京子　平成会病院
佐藤　達也　北海道循環器病院